

トリフローの特徴

優れた潤滑特性

全ての固体潤滑材中最も摩擦係数の低いPTFEを配合。微粒子化されたPTFEが金属凹凸面に付着することにより、優れた潤滑効果を発揮します。使用温度範囲も-53℃から246℃まで広範囲にご使用頂けます。

耐磨耗・耐極圧性能

トリフローは耐荷重性能についても大変優れています。特殊添加剤の配合により、焼付き限界値付近までの全領域において動摩擦係数0.08以下を実現、工具や機械パーツの寿命を延ばし、消費電力の低減にも効果を発揮します。

強力な浸透性能

鋸び付いた個所や、狭小部に対し、強力に浸透しますので、ネジ緩め・チェーン・ベアリング等の潤滑剤として最適です。金属表面に付着した汚れも同時に除去しますので、摺動面を常にクリーンな状態に保つことが出来ます。

防錆効果

金属表面の水分を除去しつつ、特殊防錆被膜を形成し錆びの発生を抑えます。金型や銃砲のメンテナンス用防錆剤としてもご使用頂けます。

長寿命

金属表面上にPTFE微粒子が存在する限り、潤滑性は損なわれません。又、ベースオイルは揮発が遅く、PTFEの欠落を防ぐと同時に表面を保護し、良好な潤滑特性を長期間維持致します。特に高速摺動面でその効果が顕著であり、一般潤滑剤の10倍以上の持続性能を示す事も希ではありません。

トリフロー塗布面拡大写真

トリフローは塗布後速やかに金属表面に拡散し、微粒子化されたPTFEが凹凸面を埋め、均一な潤滑面を形成致します。形成された被膜は汚染物質の付着が少なく、潤滑面をクリーンに保ちます。



金属面

ファレックス試験

《磨耗試験：ASTM D2670》

一般防錆潤滑剤との耐磨耗性能比較試験を行いました。右の写真的通り、トリフローは1,250lbsの荷重条件では、殆ど実質磨耗ゼロ(ラチェット歯数残17枚)というダントツの性能を示しております。

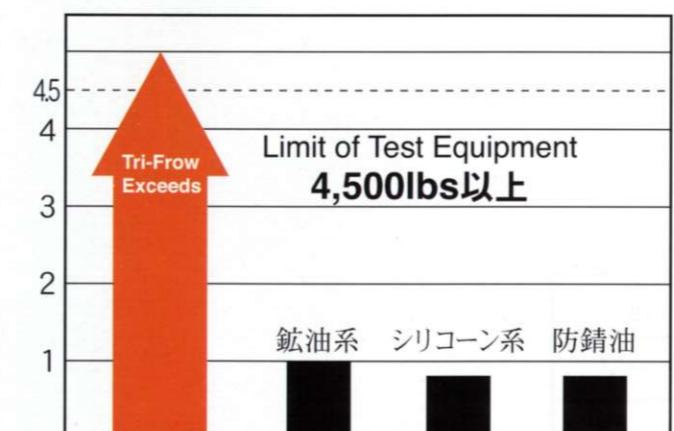


トリフロー



鉱油系

《極圧試験：ASTM D3233》



PTFE+合成油



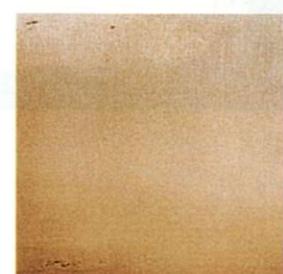
シリコーン系

ASTM D-2670 (磨耗試験)
1,250lbs / 20 minutes

防錆性能試験

《5%塩水噴霧試験：ASTM B117》

各サンプルを鋼板に塗布した後3時間静置し、5%塩水を10~25psiの圧力空気で100時間噴霧した結果を以下に示します。トリフローでは、ほとんど腐食は見られませんでしたが、他の防錆潤滑剤では全面が錆びに覆われてしまいました。



トリフロー



シリコーン系



鉱油系